Ver. 260401_単施設

第〇版（〇〇〇〇年〇〇月〇〇日作成）

信州大学医学部附属病院　歯科口腔外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

「増殖性疣贅状白板症および関連口腔扁平上皮性病変における腫瘍化メカニズムの探索」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	増殖性疣贅状白板症および関連口腔扁平上皮性病変における腫瘍化メカニズムの探索
所属(診療科等)	歯科口腔外科教室
研究責任者(職名)	登内　恒介（信州大学医学部医学科歯科口腔外科教室・大学院生）
研究実施期間	医学部長による許可日～2030 年 8 月 30 日
研究の意義、目的	疣贅性口腔粘膜病変の特徴を明らかにすることを目的とした研究で、同病変の診断に貢献すると考えられます。
対象となる方	2009 年 1 月 1 日から 2026 年 8 月 1 日までの間に当院で舌病変の切除術を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、切除組織など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、LGR5、LGR6 および各種上皮異形成、増殖マーカーと各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名（所属・職名）:　登内　恒介(歯科口腔外科・大学院生) 電話:0263-37-3500

【既存の検体や診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査、検体の採取】の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点

については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。